

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	CAD設計実習 4	
科目基礎情報						
開設学科	機械設計科	コース名		開設期	後期	
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	90時間	
単位数	3単位	授業形態	実習			
教科書/教材	必要に応じてレジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。					
担当教員情報						
担当教員	本庄正昭			実務経験の有無・職種	有・機械設計および機械設計者向けCAD教育	
学習目的						
この科目を受講する学生は、機械設計に必要な安全性に関係するCAE（Computer Aided Engineering）の基本的な知識と操作の方法を会得する。また、種類の異なるCAD間でのデータ授受に必要な操作と知識を習得する。実際にこれまでとは異なる3次元CADに触り、データの取り扱い方や作成方法の違いを学習する。						
到達目標						
機械設計のあらゆる場面で必要なCAEの基本操作と知識を習得し、安全なものを作ることに對しても意識を向けられることを目標とする。また、3次元CADを取り入れている現場で必要となる多種CAD間でのデータの取り扱いにおける基本的な知識と操作はもちろんのこと、3次元データの品質向上によるデータ変換におけるトラブルの減少手法の習得も目標とする。						
教育方法等						
授業概要	この授業では、発想力を養うため個人で課題に取り組むことと、チームワークでの作業能力、コミュニケーション能力の育成をするために、グループワークを並行して行い、また、教員主体型の指導だけでなく、学生間でのディスカッションなど学生主体型の授業を取り入れ、自分で考え、発言できる人材育成を目指す。					
注意点	この授業では、インプット型とアウトプット型を採用し、授業に参加する全員がコミュニケーションを取り、意見を交換し合うスタイルで実施します。社会の一員となる準備として、やむを得ない事由のない限り、遅刻や欠席は認めず、受講態度や不要な私語および不急なスマートフォンの使用などには厳しく対応します。定期試験の受験資格は、授業時数の4分の3以上出席した学生のみとします。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験	50%	試験と課題を総合的に評価する			
	課題	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する			
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する			
	実技	10%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する			
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画（1回～15回）						
回	授業内容		各回の到達目標			
1回	総合課題		前期の復習			
2回	CAE		静解析の基本操作の習得			
3回	CAE		静解析の基本操作の習得			
4回	CAE		静解析の基本操作の習得			
5回	CAE		静解析の基本操作の習得			
6回	データ変換		中間フォーマットの取り扱いにおける操作と知識の習得			
7回	データ変換		中間フォーマットの取り扱いにおける操作と知識の習得			
8回	CATIA		基本操作およびスケッチ			
9回	CATIA（パーツ）		ソリッドおよびサーフェス作成方法の習得			
10回	CATIA（パーツ）		ソリッドおよびサーフェス作成方法の習得			
11回	CATIA（パーツ）		ソリッドおよびサーフェス作成方法の習得			
12回	CATIA（パーツ）		ソリッドおよびサーフェス作成方法の習得			
13回	CATIA（アセンブリ）		組み立て機能の習得			
14回	CATIA（ドラフティング）		図面の作成			
15回	総合課題		全過程のまとめ			